



THE
ABEL
PRIZE
2025

ノルウェーのアーベル賞

スウェーデン人アルフレッド・ノーベル（1833～1896）が1890年代にノーベル賞を創設した際、「数学の科学賞を忘れていたのでは」と批判をした人たちがいた。その中には、ノルウェー人数学者ソフス・リー（1842～1899）も含まれていた。

当時、スウェーデンとノルウェーは、ナポレオン戦争（1800年～1815年）の余波で、デンマーク（敗者）とスウェーデン（勝者）の間で和解が成立し、連合を組んだ。ノーベル賞は「国家間の友好」推進を目的としたため、スウェーデンがノーベル賞、ノルウェーがノーベル平和賞の授与地となった。

ソフス・リーは考えた。ノルウェーの天才数学者ニールス・ヘンリック・アーベル（1802～1829）を称えたいと

思ったのだ。そこで、1902年、アーベルの生誕100周年を記念して、リーはスウェーデン・ノルウェーのオスカル2世国王の関心を引くことに成功した。しかし、1905年に両国の連合が解消され、ノルウェーが国家として独立を果たすと、スウェーデン・ノルウェー数学賞の創設に向けた取り組みも終了した。

アーベルは忘れ去られてはいなかった。2002年、アーベルの生誕200周年を記念して、ノルウェーの数学界は賞の創設に成功した。ノルウェー政府および当時の首相イェンス・ストルテンベルグとともに、熱心なグループが以前の取り組みを再開し、アーベル賞のための政治的合意と財政的支援を確保した。2003年に最初の「アーベル賞」が授与された。

